

# MAX

# 取扱説明書

プロ用

このたびは、マックスピン打機ガスネイラをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の手扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

## 警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。

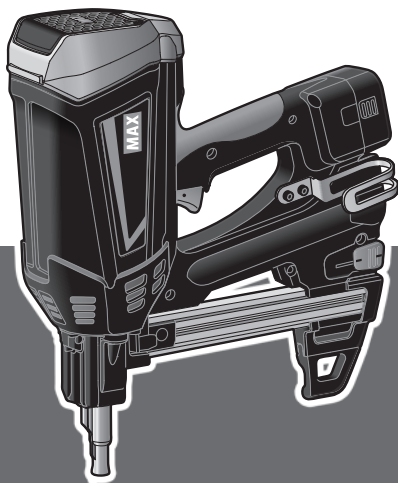
この取扱説明書は常時内容が確認できるように保管してください。

本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

銃刀法対象外製品

マックスピン打機ガスネイラ

# GS-738C2



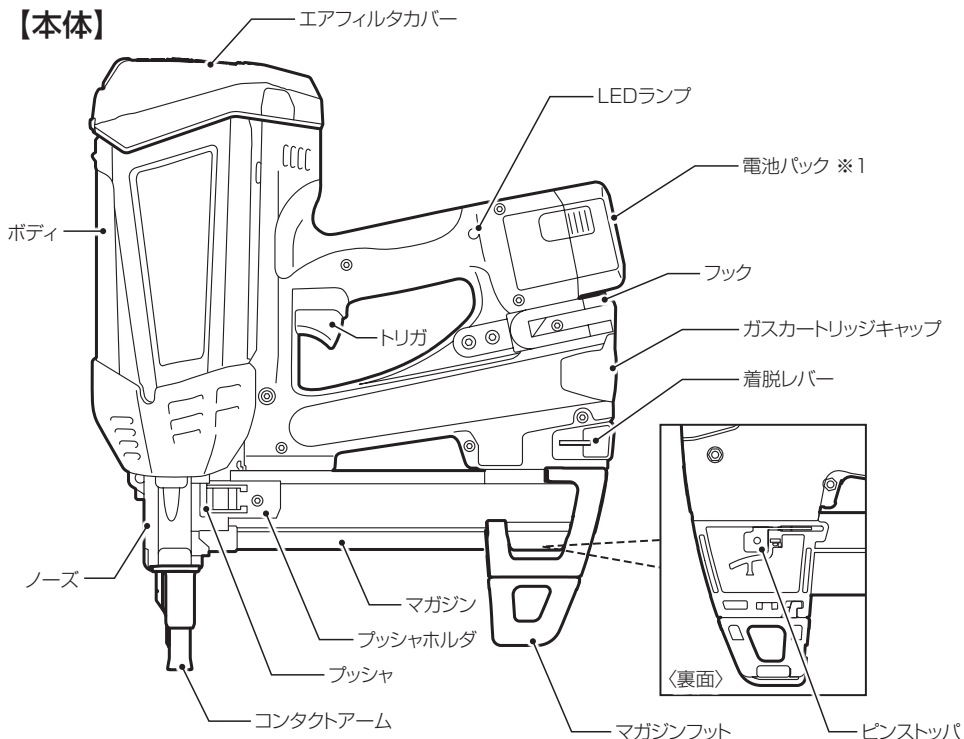
# 目 次

---

各部の名称	3
安全作業のために	4~11
ピン打機の安全上のご注意	12~16
仕様及び付属品・使用ピン	17,18
用途とピン選定基準	19
電池パックと充電器の使い方	20~23
ガスカートリッジの取扱い	24~26
ガスカートリッジの装填・交換方法	25
使用済ガスカートリッジの処理	26
使用方法	27~32
ピンの装填方法	27
ピンの抜き取り方	28
打ち方	29
オートパワーOFF機能について	29
アジャスタの調整と打込状態の確認	30
フックの方向の換え方	31
マガジンフットの取外し方	31
電池パックの交換について	32
ピンづまりの直し方	33
故障かな?と思ったら	34, 35
性能を維持するために	36
エアフィルタの清掃	36
保証、アフターサービスについて	37
保証について	37
アフターサービスについて	37

# 各部の名称

## 【本体】



## 【付属品】

※1 電池パック (JP-H606)

パックキャップ

充電器 (JC-610M)

電池パック 取り付け穴



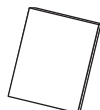
保護メガネ



キャリングケース

端子部

DCプラグ



取扱説明書



保証書

銘板(裏側)

電源プラグ

ACアダプタ



ボンチ



六角レンチ

電源コード

充電器セット(JC-610Mセット)

## ▲ 安全作業のために

本機は、ピンで薄鋼板をコンクリートに留めることを目的としたピン打機です。エンジンの原理で機械内部で燃料ガスと空気の混合物に点火・燃焼させ、そのエネルギーでピンを打つ機構となっています。

指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながるおそれがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全作業のために」を必ず守ってください。
- ご使用前に、「安全作業のために」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

### ■表示の意味について

ご使用上の注意事項は、 **警告**、 **注意**、 **ご注意** に区分してありますが、それぞれ次の意味を表します。




**警告**

誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



**注意**

誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**ご注意**

製品、付属品の取扱い及びメンテナンスなどに関する重要なお注意。

### 絵表示について



「禁止」を表します。

# ⚠ 安全作業のために

## ⚠ 警告

安全作業のために、使用前に取扱説明書を必ず読む。

専用の充電器や電源コード、電池パックを使用する。

- ・ 付属の充電器や電源コード以外で電池パックを充電しないでください。
- ・ 指定した電池パック以外は充電しないでください。  
指定以外の充電器で充電することは充電できないばかりか、破損したり、発火・発熱のおそれがあります。
- ・ 付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。火災や感電の原因となります。

使用前に充電する。(トリクル充電)

新品の電池パックまたは1ヶ月以上使用していない電池パック、充電しても明らかに使用本数が少なくなった場合は、自然放電により満充電状態ではない場合があります。  
ご使用前に必ず専用充電器で約12時間充電してください。

正しく充電する。

- ・ この充電器は定格表示してある電源で使用してください。  
昇圧器などのトランス類、直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。  
充電器の故障の原因や異常発熱により火災のおそれがあります。
- ・ 温度が0℃未満、または温度が40℃以上では電池パックを充電しないでください。
- ・ 電池パックは、換気の良い場所で充電してください。  
電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。  
破裂や火災のおそれがあります。
- ・ 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
感電や火災のおそれがあります。
- ・ 充電器の通風孔や電池パック装着口に異物を入れないでください。  
感電や故障の原因となります。

電池パックの端子間を短絡(ショート)させない。

電池パックの端子に金属を接触させたり、釘など金属が入った工具箱や釘袋などに入れたり、雨や水に濡らしたりすると、短絡(ショート)して発煙・発火・破裂などのおそれがあります。

ぬれた手で充電器の電源プラグに触れない。

感電のおそれがあります。

電池パックは発煙、発火、破裂のおそれがあるため、次のようなことをしない。

- ・ 端子に金属類を接触させないでください。
- ・ 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れてください。
- ・ 雨や水に濡らさないでください。

充電器を使用しないときは、コンセントから電源コードを抜く。

# ⚠ 安全作業のために

## ⚠ 警告

ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では充電しない。爆発や火災のおそれがあります。

火災のおそれがありますので次のことをしない。

- ・ 段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニール等の上では、充電しないでください。
- ・ 通風孔（風窓）のある充電器は、充電中に通風孔をふさがないでください。
- ・ 通風孔に金属類・燃えやすい物を差込まないでください。
- ・ 綿ほこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

充電器の電池パック装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけない。

充電器は充電以外の用途に使用しない。

電池パックを使用しない時は、必ずパックキャップをかぶせる。

作業場の周囲状況も考慮する。

- ・ 充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、または濡れた場所で使用しないでください。感電や発煙のおそれがあります。
- ・ 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故のおそれがあります。
- ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。爆発や火災のおそれがあります。

使用の際は、作業者および周りの人も必ず保護メガネを着用する。

粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。飛散する切り粉や粉塵などが目や鼻に入るおそれがあります。ピン打作業をするとき、打ち損じのピンがはね返り、眼に入ると失明するおそれがあります。作業する本人はもとより周りの人も必ず保護メガネを着用してください。



保護具を着用する。

- ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）など防音保護具を着用してください。
- ・ 作業時はヘルメット、安全靴などを着用してください。



次の場合は電池パックを本体から抜く。

- ・ 使用しない、またはピンづまりの除去や修理する場合。
- ・ 本機の調整をする場合。
- ・ その他危険が予想される場合。  
不意に本機が作動して、事故やけがの原因になります。

# ⚠ 安全作業のために

## ⚠ 警告

**不意な始動は避ける。**

- ・ トリガ(スイッチ)に指を掛けて運ばないでください。
- ・ 電池パックを差込む前にトリガ(スイッチ)が切れていることを確認してください。不意に本機が作動して、事故の原因になります。

**指定の付属品やアタッチメントを使用する。**

この取扱説明書、および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。事故やけがの原因になります。

**電池パックを火中に投入しない。**

破裂したり、有害物質の出るおそれがあります。

**電池パックの液が漏れた時は、素手で液を触らず、以下の処置をする。**

- ・ 液が目に入った場合、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、医師にご相談ください。
- ・ 液が体や衣服に付くと皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流した後、医師にご相談ください。
- ・ 液漏れした電池パックは使用を中止し、火に近づけないようにしてください。また、すぐに販売店にご相談ください。

**使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しない。**

**充電中、発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて充電を中止する。**

そのまま充電を続けると、発煙・発火・破裂のおそれがあります。

**異常を感じたら絶対に使用しない。**

トリガ(スイッチ)が入らない、本機が高温になる等、作業中に本機の調子が悪かったり異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理なさらず、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス(株)へお買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

そのまま使用を続けると、発煙・発火・破裂のおそれがあります。

**必ず専用ガスカートリッジを装填する。**

**風通しの悪い場所ではガスカートリッジを保管しない。**

**直射日光下にガスカートリッジを置かない。**

温度上昇のおそれのある直射日光下、車内やトランクの中には置かないでください。爆発のおそれがあります。また、空になったガスカートリッジにも可燃性の噴射ガスが入っており、噴射ガスが膨張し、容器が破裂するおそれがあります。

# ⚠ 安全作業のために

## ⚠ 警告

周囲温度40℃以下でガスカートリッジを保管する。

ガスカートリッジには加圧された可燃性ガスが入っており、40℃を超える温度にさらされると、ガスカートリッジからガスが漏れたり、破裂したりするおそれがあり、火事や爆発が起こる危険があります。

本機、ガスカートリッジ、電池パック、充電器は必ず子供の手の届かない所に置く。

ガスを吸引しないように注意する。

眠気や目まい、吐き気をおこすおそれがあります。

ガスカートリッジはたとえ空になっても、焼却、再充填はしない。

ガスカートリッジはたとえ空になっても、焼却しないでください。また、ガスの再充填はできません。絶対に行わないでください。

絶対にガスを人体に向けて噴射しない。

付属のガス抜き器具以外でガスカートリッジ底部のゴム栓を外さない。

(使用済ガスカートリッジの処理については26ページを参照)



釘と金づちでガスカートリッジに穴を開けない。

火花が出て、残ったガスに引火するおそれがあります。市販のガス抜き器具で穴を開けてください。





# ⚠ 安全作業のために

## ⚠ 注意

### 作業場所を常に整理する。

作業場所が乱雑だと、つまづくなどして思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓をして安定した姿勢で作業を行ってください。

### 子供を近づけない。

- ・ 作業員以外、ピン打機や充電器のコードに触れさせないでください。
- ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。

### 使用しない場合は、きちんと保管する。

- ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
- ・ ピン打機や電池パックを温度が40℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。電池パック劣化の原因になり、発煙、発火のおそれがあります。

### きちんとした服装で作業する。

- ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれるおそれがあるので着用しないでください。
- ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

### 充電器のコードを乱暴に扱わない。

- ・ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ・ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火するおそれがあります。

### 注意深く手入れをする。

- ・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・ 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、直ぐに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらず、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。感電や短絡（ショート）して発火するおそれがあります。
- ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。感電や短絡（ショート）して発火するおそれがあります。
- ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。けがの原因になります。

# ⚠ 安全作業のために

## ⚠ 注意

**無理な姿勢で作業をしない。**

転倒して、けがの原因になります。

**調節キーやレンチなどは、必ず取り外す。**

- ・トリガ（スイッチ）を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外してあることを確認してください。付けたままですと、作業時に外れてけがの原因になります。

**屋外使用に合った延長コードを使用する。**

- ・屋外で充電する場合は、キャブタイヤコード、又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

**油断しないで十分注意して作業を行う。**

- ・取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・常識を働かせてください。
- ・疲れている場合は、使用しないでください。軽率な行動や非常識な行動などすると事故やけがの原因になります。

**充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに充電器の電源プラグを抜いて、充電を中止する。**

そのまま充電を続けると、発煙・発火・破裂のおそれがあります。

**損傷した部品がないか点検する。**

- ・使用前に部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、決してご自分で修理をなさらず、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。
- ・トリガ（スイッチ）で始動、および停止操作のできないピン打機は使用しないでください。

## ⚠ 注意

### 修理は、専門店で依頼する。

- ・ サービスマン以外の方は、ピン打機・充電器・電池パックを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ・ ピン打機・充電器・電池パックが熱くなったり異常を感じたら、ただちに使用を中止し、マックスエンジニアリングサービス㈱へお買い求めの販売店を通じて点検・修理に出してください。
- ・ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 修理・メンテナンス・調整は、純正部品以外は使用しないでください。
- ・ 修理の際は決してご自分で修理をなさらず、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないばかりでなく、事故やけがの原因となります。

### 騒音防止規制について

騒音に関して、法令や各都道府県などの条例で定める規制があり、規制値以下でご使用になる必要があります。状況に応じて遮音壁を設けるなどしてご使用ください。

# ⚠️ ピン打機の安全上のご注意

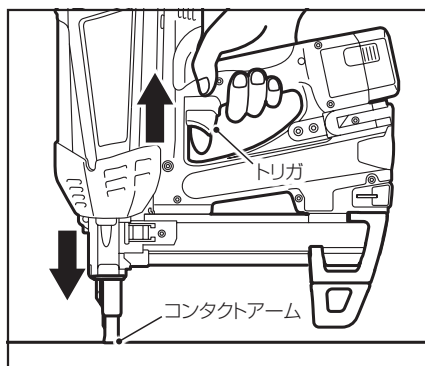
## ⚠️ 警告

### 安全装置について

ピン打作業の安全を確保するため、本機には次のような安全装置がついています。

#### ●メカニカル安全装置（シーケンシャルトリガ）

これはコンタクトアーム、そしてトリガの順に作動させないとピンを発射しないメカニズムです。つまりトリガを引いただけのときや、コンタクトアームを打込対象物に当てただけのとき、また、トリガ、コンタクトアームの順に作動させたときはピンは発射しません。コンタクトアームを対象物に当ててからトリガを引いたときのみピンは発射されます。



#### ●空打ち防止装置

ピンを装填しないと、コンタクトアームを打込対象物に当ててトリガを引いても本機は作動しません。また、マガジン内のピン装填数が残り2本になると、空打ち防止装置がはたらき、ピンを発射できなくなります。その場合は、**使用方法【ピンの装填方法】**（27ページ）にのっとり、ピンを装填してください。

### 安全装置の点検

使用前に安全装置が完全に作動するか確認する。

点検により異常が発見された場合、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱にお買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

①使用前にピンを装填しないで電池パック、ガスカートリッジを本機に取付け（23、25ページ参照）、以下の確認を必ず行ってください。

- トリガを引いただけで作動音がしないか。
- コンタクトアームを打込対象物に押し当てただけで空打ちしないか。

※ファンが回る音がしますが故障ではありません。

トリガを引いただけで作動音がしたり、コンタクトアームを打込対象物に押し当てただけで空打ちする場合は故障です。そのまま使うと事故の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

②確認を行った後は、電池パック、ガスカートリッジを本機から取り外してください。

# ⚠️ ピン打機の安全上のご注意

## ⚠️ 警告

**打つとき以外は、絶対にトリガに指をかけない。**

トリガに指をかけたまま本機を取り回し、誤って発射した場合は思いがけない事故につながります。ピンを打つとき以外は絶対にトリガに指をかけないでください。

**射出口を絶対に人体に向けない。**

射出口を人に向け誤って発射した場合には、思いがけない事故につながりますので、電池パックを装着するときも含め、射出口を人体に向けないでください。また、射出口付近に手足等を近づけての作業は危険ですから避けてください。同時に打ち損じたピンが人に当たらぬよう作業中は周りの人にも注意をはらってください。



**射出口を確実に対象物に当てる。**

射出口を確実に対象物に当てないと、ピンがはねたり、それたりして大変危険です。また、本機が強く反発することもあり危険です。

**揮発性可燃物や、引火のおそれがある物のそばで絶対に使用しない。**

揮発性可燃物（ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤等）のそばで使うとピン打込時の火花による引火、爆発や火災のおそれがありますので絶対に使用しないでください。

**火気には近付けない。**

**移動時、フック使用时、使用しない時、本機の調整・修理、ピン装填、ガスカートリッジの交換などのときは、本機から電池パックを外し、トリガに指をかけない。**

トリガを引いたまま本機を持ち歩いたり、手渡し等をして誤って発射した場合、思いがけない事故につながる可能性があります。移動時、フック使用时、使用しない時、本機の調整・修理、ピン装填、ガスカートリッジの交換などのときは、必ず本機から電池パックを外し、トリガに指をかけないでください。

**落下やそれに類する衝撃を機械本体に与えた場合、安全装置等が正常に作動することを確認してから作業を再開する。異常を感じたら絶対に使用しない。**

作業中に本機の調子が悪かったり異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらず、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱にお買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

**雨の中、水のかかる場所では絶対に使用しない。**

雨の中、水のかかる場所、濡れた場所、湿った場所では絶対に使用しないでください。感電事故の元となります。また、本機を雨の中に放置しないでください。

## ⚠️ ピン打機の安全上のご注意

### ⚠️ 警告

誤って落としたり、ぶつけたときは、本機に破損や亀裂、変形がないことをよく点検する。

破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

高所作業のときには下に人がいないことをよく確認する。

本機を落としたときなど、事故の原因になります。

風通しの悪い場所では使用しない。

風通しの悪い場所で使用すると酸欠のおそれがあります。

足場の安全性を十分に確認する。

足場を使っての高所作業の場合、ピン打作業中に落ちることのないように充分足場の安全性を確認してください。

直射日光を避ける。

温度上昇のおそれのある直射日光下、車内やトランクの中には置かないでください。

爆発のおそれがあります。また、空になったガスカートリッジにも可燃性の噴射ガスが入っており、噴射ガスが膨張し、容器が破裂するおそれがあります。

本機の高温に注意する。

長時間本機を使用した場合、ノーズ、コンタクトアームなどが高温になります。火傷をしないよう注意してください。

本機が熱くなったら、風通しの良いところでしばらく冷やしてから使用してください。

-7°C~40°Cの作業環境で使用する。

-7°C以下:本体を損傷するおそれがあります。

40°C以上:ガスカートリッジを損傷し、引火・爆発のおそれがあります。

指定のピン、ガスカートリッジを使用する

指定されたピン、ガスカートリッジ(17, 18ページ参照)と異なるものを使うと本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のピン、ガスカートリッジをお使いください。

# ⚠️ ピン打機の安全上のご注意

## ⚠️ 警告

### 打ち方

#### 水平面のピン打ち

前進姿勢でピン打ち作業を行ってください。安全で疲労が少なく、正確で速い作業ができます。  
後退しながらの作業は足をとられるなど危険です。

#### 垂直面のピン打ち

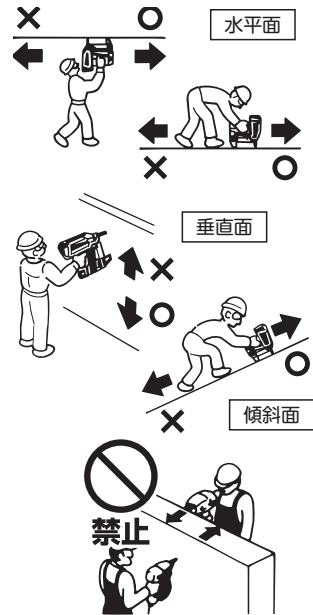
本機を手の届く最も高いところまで差し上げ、上から順に下へピン打ち作業を行ってください。

#### 傾斜面のピン打ち

下から上に向かって前進姿勢でピン打ち作業を行ってください。上から下に後退すると足を踏み外す危険があります。

#### 向い合わせのピン打ちは絶対にしない。

向い合ってピン打ち作業をすると、打ち損じたピンが前の作業者にあたり、思わぬけがをすることがあります。



#### 本機を大切に手入れする。

より安全に性能を発揮させるため、本機は摩耗、損傷のない最良の状態に保ってください。  
グリップ部は乾燥させ、清潔にし、油やグリスが付かないようにしてください。  
本機は乾いたやわらかい布でふき、濡れた布やシンナー、ベンジンなどの揮発性のものは絶対に使用しないでください。破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

#### 本機を絶対に分解しない。

万一故障した時は、決してご自分で修理をなさらずに、マックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

#### 本機を絶対に改造しない。

本機を改造すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれ大変危険です。絶対に行わないでください。

## ⚠️ ピン打機の安全上のご注意

### ⚠️ 警告

#### 本機を収納保管する。

作業終了時、または使用しない時は、本機よりガスカートリッジ、電池パックをはずし、マガジン内のピンを抜いてください。そしてキャリングケースに本体を収納し、電池パックは短絡（ショート）防止のパックキャップをかぶせて収納してください。気温が40℃以上にならず、直射日光の当たらない乾燥した風通しの良い所に保管してください。また、保管場所は子供の手の届かない高い所や盗難、紛失のおそれのない鍵のかかった所にしてください。



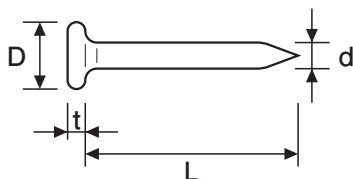
# 仕様及び付属品・使用ピン

本機は銃砲刀剣類所持等取締法対象外製品です。所持許可・申請等の手続きは不要です。

## 〈本体〉

商 品 名	マックスピン打機ガスネイラ
商 品 記 号	GS-738C2
寸 法	(H) 380×(W) 123×(L) 328mm
質 量	3.7kg (電池パック含む)
ピ ン 装 填 数	22本
電 池 電 圧	6V
使用電池パック	マックスガスネイラ用電池パック JP-H606

## 〈使用ピン〉



(単位:mm)

商品記号	L	D	t	d	使用用途
CP-719V6-G2 (A)	19	6.3	1.2	2.6	コンクリート
CP-722V6-G2 (A)	22	6.3	1.2	2.6	
CP-725V6-G2 (A)	25	6.3	1.2	2.6	
CP-732V6-G2 (A)	32	6.3	1.2	2.6	
CP-738V6-G2 (A)	38	6.3	1.2	2.6	
CP-718W0-G2 (A)	18	6.3	1.5	3.0-2.6(二段形状)	高強度コンクリート
CP-721W0-G2 (A)	21	6.3	1.5	3.0-2.6(二段形状)	
CP-717W0-GP-G2 (A)	17	6.3	1.5	3.0-2.6(二段形状)	
CP-713W0-GP-G2 (A)	13.5	6.3	1.5	3.0-2.6(二段形状)	鋼板/高強度コンクリート
CP-715W0-GP-G2 (A)	15	6.3	1.5	3.0-2.6(二段形状)	
AP-715W0-GP-G2 (A)	15	6.3	1.5	3.0-2.6(二段形状)	

## 〈電池パック〉

商 品 名	マックスガスネイラ用電池パック
商 品 記 号	JP-H606
電 池 種 類	ニッケル水素電池
公 称 電 圧	DC6V
公 称 容 量	1.5Ah
充 電 時 間	満充電 約150分
付 属 品	パックキャップ (短絡(ショート)防止用)
質 量	0.2kg

※満充電で約3,000本打込可能です。但し、使用環境、使い方等によって打込可能本数は変化します。

## 〈充電器〉

商 品 名	マックスガスネイラ用充電器セット
商 品 記 号	JC-610Mセット
電 源 ( 入 力 )	AC100V 50/60Hz
充電電圧/電流(出力)	DC10V/0.8A
質 量	0.3kg

## 〈ガスカートリッジ〉

マックスガスネイラ用ガスカートリッジ

※ガスカートリッジ1本で約500本打込可能です。但し、使用環境、使い方等によって打込可能本数は変化します。

## 〈付属品〉

電池パックJP-H606 (2個)、充電器JC-610Mセット (ACアダプタ、ACコード含む)、保護メガネ、キャリングケース、六角レンチ4、ポンチ

※仕様は改良のため、主要機能及び形状等が変更されることがありますのでご了承ください。

# 用途とピン選定基準

本機の用途には次のようなものがありますが、打込対象部材に合わせたピンの選定と足長さの選定をしてご使用ください。

## ●薄鋼板のコンクリートへの取付け

コンクリートへの貫入量が約15～20mm程度になるように選定してください。

例：間仕切りランナー留め、吊り下げバンド留め

※数値は目安です。コンクリート等の条件によって適切な貫入量は変わります。

## ●鉄骨（H型鋼）に対する薄鋼板留め

鋼板用途のピンをご使用ください。

### 警告

- 指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながるおそれがあります。  
絶対にしないでください。

# 電池パックと充電器の使い方

## ⚠ 警告

### ●指定電圧で充電する。

必ずAC100Vのコンセントより充電してください。指定電圧以外の充電は故障の原因となるだけでなく危険です。

### ●昇圧器などのトランス類、直流電源やエンジン発電機では使用しない。

故障の原因となるだけでなく異常に発熱し、火災のおそれがあります。

### ●正常なコンセントを使う。

充電器の電源プラグを差し込んだ時に、ガタがあつたり、すぐに抜けたりするコンセントをそのまま使うと加熱による事故の原因になります。このような時は、別の正常なコンセントをお使いください。

## 充電方法

### お買い上げ時の電池パックについて

お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていません。ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。

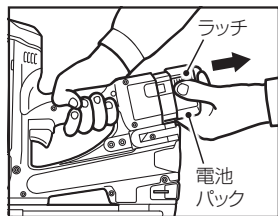
## ⚠ 警告

●お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていませんが、本機に取付け、スイッチ操作すると作動するおそれがあるので注意する。

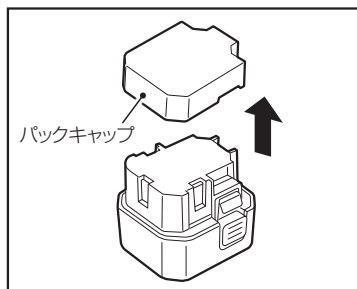
●電池パックを本機に取付け、取外しをするときは、必ずトリガから指をはずし、コンタクトアームを押し付けない状態で行う。

### 一度使用されて電池パックを工具に取付けている場合

工具より電池パックを取外します。本機をしっかりと持ち、電池パック両脇のラッチを指で押しながら取り外します。

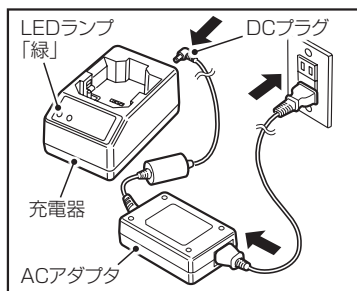


## 1 電池パックの端子部にかぶせてある短絡(ショート)防止用のパックキャップを外してください。



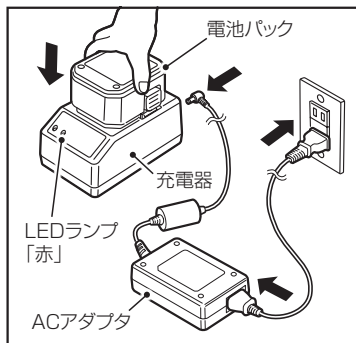
## 2 ACアダプタのDCプラグを充電器に差し込み、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

LEDランプ緑が点灯して、通電状態をお知らせします。



### 3 電池パックを充電してください。

- ①電池パックを充電器にしっかりと差し込みます。
- ②電池パックを充電器にセットすると、自動的に充電を開始します。LEDランプ赤が点灯して充電中をお知らせします。
- ③最長充電時間は約150分です。充電時間は、気温や電源電圧、電池の残量などにより変動します。充電が100%完了すると、LEDランプ緑が点灯して充電完了をお知らせします。充電完了した電池パックを再度充電器にセットすると、再び充電中を示すLEDランプ赤が点灯しますが故障ではありません。しばらくすると、充電完了を示すLEDランプ緑が点灯します。



### 4 LEDランプ緑が点灯したら充電完了のお知らせです。

- ①充電器を押さえ、電池パックを取り出します。
- ②ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。

#### 充電時のLEDランプ表示について

専用充電器JC-610Mセットは、充電器、電池パックの状態をあらわすLEDランプ（緑・赤）が付いています。ご使用の際は、必ずLEDランプを確認してください。

	緑	赤	状態	内容
1	○点灯	●消灯	通電	充電器をコンセントに差し込んだ状態 (通電状態:電池パック未装着)
2	●消灯	○点灯	充電中	電池パックを充電中です。
3	○点灯	●消灯	充電完了	電池パックが完全に充電されています。
4	☀️点滅	☀️点滅	高温異常	電池パックが高温になっています。 (充電器から電池パックを取り外し、充電する前にしばらく冷やしてください。)
5	○点灯	○点灯	電池パック異常	電池パックの異常です。 (新しい電池パックと交換してください。)
6	☀️点滅	○点灯	電池パック高温・異常	電池パックの異常、且つ高温になっています。 (新しい電池パックと交換してください。)

## 充電時の故障について

次のような状態は故障と考えられますので、新しいものとお取替えてください。

- ・ 充電器の電源プラグを交流100V（家庭用）のコンセントに差し込んでもLEDランプ緑が点灯しない。（電池パックをセットしない状態で）  
※コンセントに電気が来ているかどうかは、別の電気器具で一度お試してください。
- ・ 充電器に電池パックをセットしても、LEDランプ緑もLEDランプ赤も点灯点滅しない。
- ・ LEDランプ赤が点灯後150分以上してもLEDランプ緑に切り替わらない。
- ・ 電池パックを充電器に差ししてもLEDランプ赤が点灯しない。

## 電池パックの上手な使い方

### ① 満充電して電気がなくなるまで、ほぼ使い切る。

蓄電された電気がまだ半分以上残っている状態での充電をくり返し行いますと、1回の充電で利用できる打込み本数が極端に減り、電池の寿命も短くなる可能性があります。

本体LEDランプが赤く点灯し電池パックの電気がなくなるまで使うのがコツです。

### ② 2コの電池パックを交互に使う。

ひとつの電池パックをくり返し使うよりも、スペアを用意して交互に使うほうが長持ちします。

## ⚠ 注意

● 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは本機から取り出しておく。

● 本機に取り付けた後、電池パック部を持って持ち運ばない。

● 寿命の尽きた電池パックは使わない。

そのままお使いになりますと本機の故障の原因となり、充電すると充電器の故障の原因ともなります。

● 充電完了した電池パックを再度充電しない。

電池パックの寿命を縮めるおそれがあります。

## 電池パックの寿命について

正しく充電しても打込み本数が著しく低下した場合には、電池寿命がつかたものとお考えいただき新しい電池パックをお買い求めください。

## ニッケル水素電池のリサイクルについて

本機に使用する電池パックはニッケル水素電池を使用しています。ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。寿命の尽きた電池パックは廃棄せずにお買い求めの販売店、もしくはマックスエンジニアリングサービス(株)へお持ちください。環境の保全と資源のリサイクルにご協力をお願いいたします。

### ⚠ 警告

- 電池パックは短絡（ショート）防止のため、端子部（金属部）に必ずバックキャップをかぶせ（絶縁テープを巻いて）リサイクルに出す。

## 電池パックの取り付け、取り外し方

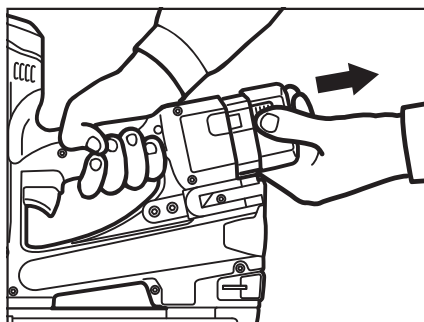
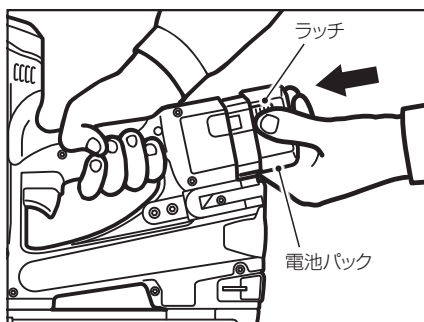
### ⚠ 警告

- 電池パックの取付け・取外しをする前に、必ずトリガから指をはす。
- 電池パックの取付け・取外しをするときに、射出口を絶対に人体に向けない。
- 使用前には、電池パックが本機に確実に取付けられていることを確認する。  
不完全な状態ですと、作業中に電池パックが落下して、けがなどするおそれがあります。

電池パックを取り付けるときは、本機に「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

電池パックを差し込んだ際、機械内部で「カチッ」という小さな音がしますが、これは異常ではありません。

電池パックを取り外すときは、本機をしっかりと持ち、電池パック両脇のラッチを押しながら取り外してください。



# ガスカートリッジの取扱い

ガスカートリッジは二重構造になっており、内側容器に燃料ガス、外側容器には噴射ガス（加圧された別のガス）が充填してあります。

歯みがきのチューブを絞るように噴射ガスの圧力で中の燃料ガスを押し出し、最後まで無駄なく使い切ることができます。このような構造のため、内側容器の燃料ガスを使い切った後も外側容器の可燃性の噴射ガスは残っています。

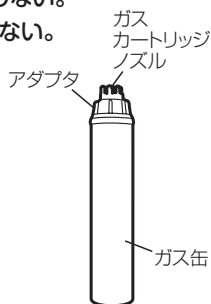
したがって、空になったガスカートリッジの処理については充分注意してください。

## 警告

- 必ずマックスガスネイラ専用ガスカートリッジを使用・装填する。
- ガスカートリッジの機械への装填や抜くときに絶対にくわえタバコはしない。
- ガスカートリッジを分解しない。マックスガスネイラ以外に絶対に使わない。
- ほこりや粉じんがカートリッジノズルに付かないようにする。
- ガスカートリッジ底部のゴム栓を外さない。
- 釘と金づちでガスカートリッジに穴を開けない。
- 吸引しないように注意する。

眠気や目まい、吐き気をおこすおそれがあります。

- 絶対に人体に向けて噴射しない。
- たとえ空になっても、ガスカートリッジの焼却、再充填はしない。  
(ガスカートリッジの処理については26ページを参照)
- アダプタのしゅう動部を不必要に指で押さない。缶を逆さにして床に押し付けたりしない。  
ガス漏れして危険です。



## 注意

- ガスカートリッジの使用期限は缶に表記されています。使用期限を守ってお使いください。使用期限の切れたガスカートリッジを使用すると、ピンを発射できない恐れがあります。



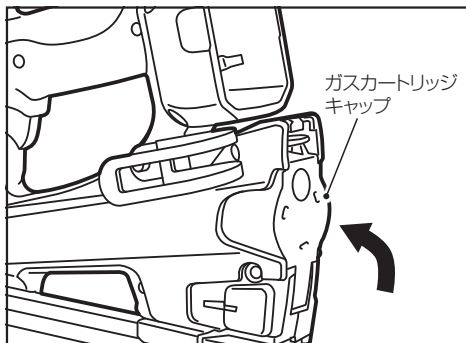
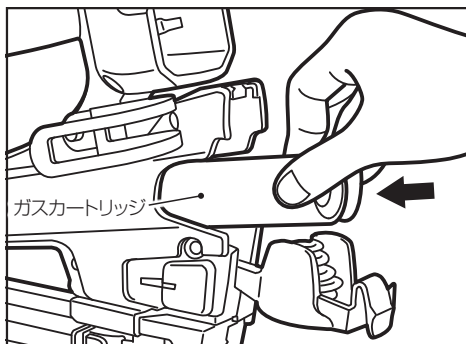
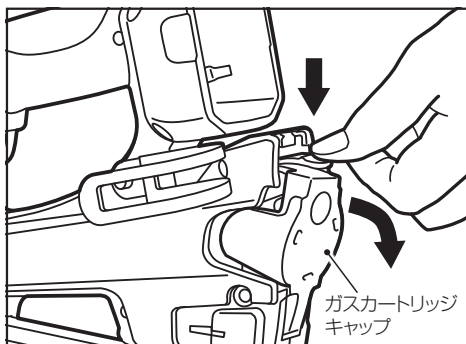
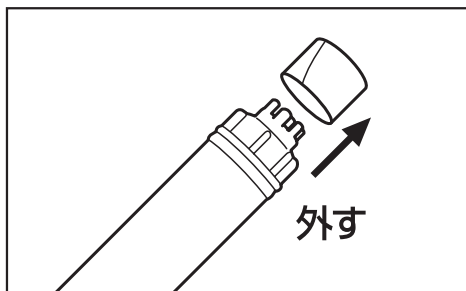
## ガスカートリッジの装填・交換方法

### ⚠ 警告

- 必ずトリガから指をははずす。
- コンタクトアームを押し付けない。

### 手順

- ①ガスカートリッジ先端のキャップを取り外します。
- ②ガスカートリッジキャップを開きます。
- ③中に異物が無い事を確認して、ガスカートリッジのアダプタを奥に向けて差し込んでください。
- ④ガスカートリッジキャップをパチンと音がするまで確実に閉めてください。



## 使用済ガスカートリッジの処理

使用済のガスカートリッジにも、可燃性の噴射ガスは残ったままです。取扱い、処理の際も十分に注意してください。

### 警告

- 使用済ガスカートリッジを火中に投入しない。
- 揮発性可燃物のそばで絶対に処理しない。ガソリン・シンナー、ガス、塗料、接着剤などのそばでの処理は、引火または、爆発のおそれがあるので絶対に処理しないでください。
- 火気のそばでは絶対に処理しない。
- くわえタバコを絶対にしない。
- 40℃以上の場所では絶対に処理しない。
- 風通しの悪い場所では絶対に処理しない。
- 絶対に吸引しない。

燃料ガスをすべて使用した後、次の方法で噴射ガスの排出処理をしてください。

- ①カートリッジノズルを床等に数回押しつけ、燃料ガスが出なくなるのを確認してください。

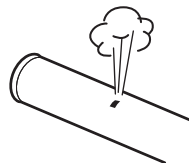


- ②市販のガス抜き器具でガス缶に穴を開けてください。



- ③開けた穴から噴射ガスが排出されます。この時急冷却に注意してください。

※噴射ガスは勢いよく排出されます。片手でしっかりガス缶をおさえてから穴を開けてください。また排出時に人体にかからないように注意してください。



燃料ガス及び噴射ガスを完全に排出後、空き缶をアルミ缶として分別廃棄されるか、弊社営業担当か販売店にお返しください。

# 使用方法

使用前にガスカートリッジと電池パックをはずして使い方を覚えてください。

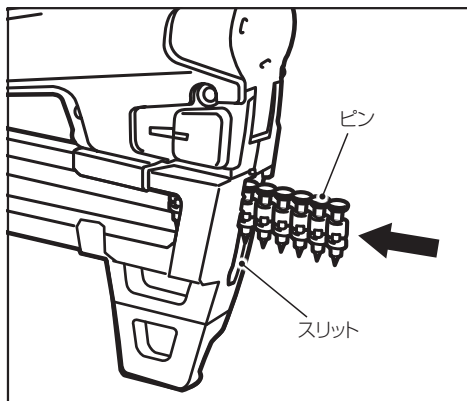
## ピンの装填方法

### ⚠ 警告

- ピンを装填するときは必ずトリガから指をはずす。
- コンタクトアームを押し付けない。

### 手順

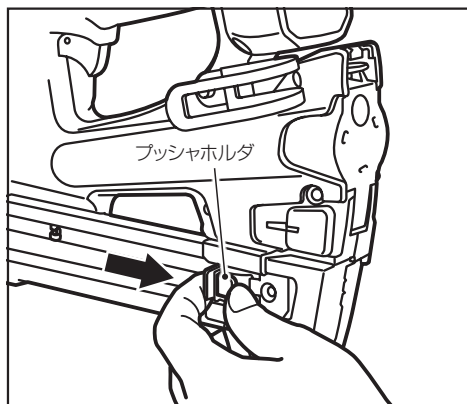
- ①マガジン後方のスリットにピンを差し込み、ピンストップを通りすぎてカチッと音がするまで押し込みます。ピンは最大2連(10本×2)装填できます。



- ②プッシャホルダを後方に引き切り、プッシャホルダを静かに戻します。

### ⚠ 注意

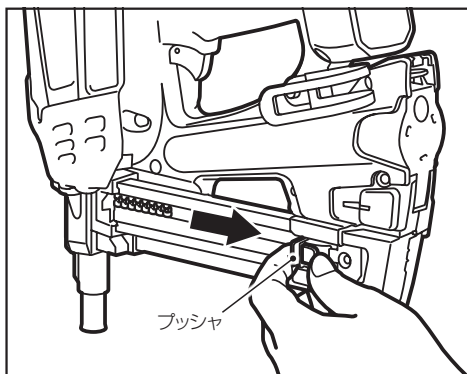
- プッシャホルダを静かに戻さないでピンづまり、空打ち等の原因となります。
- プッシャホルダを戻す際には、手や指をさはさないよう気を付ける。



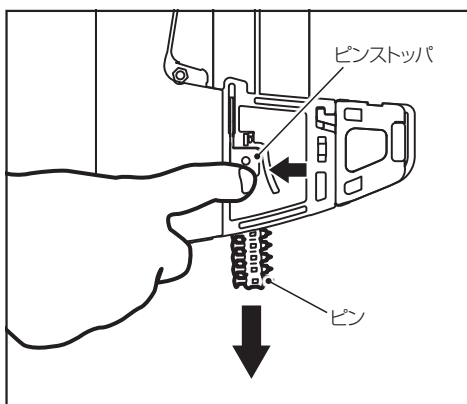
## ピンの抜き取り方

### 手順

- 1 プッシャホルダに指をかけ、プッシャのレバーを押しながら静かに戻します。



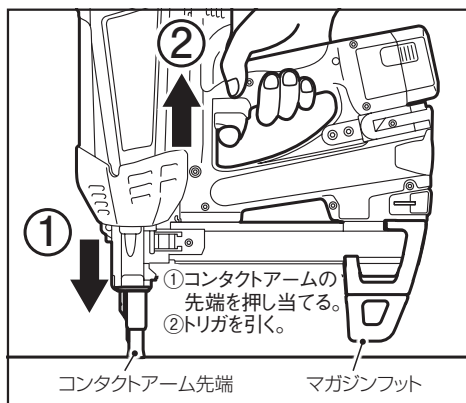
- 2 マガジンを垂直にし、ピinstoppaを押し、ピンを取り出します。



## 打ち方

### 手順

- ①電池パックとガスカートリッジを装填してください。
- ②ピンを打とうとする場所にコンタクトアームの先端を押し当てるとファンがまわります。
- ③コンタクトアームをしっかりと押し当ててトリガを引きますとピンが対象物に打ち込まれます。



### 警告

- 絶対に本機の上に顔を近づけない。打ったときの反動で思わぬ怪我をすることがあります。
- 射出口付近に絶対に指や手などを近づけない。

- ④トリガを引いたままで、再度コンタクトアームを対象物に当たってもピンは発射されませんので、トリガをもどし②の動作を繰り返し行ってください。

### 注意

- 打ち込みが終わった後もファンが回転します。回転時間は作業スピードにより変わります。

### 警告

- 作業前、上記の通りの作動をするか必ず確認する。
- 長時間使用すると本機が熱を持ち、火傷のおそれがあります。本機が熱くなったら、風通しの良いところでしばらく冷やしてから使用してください。  
異常のある場合は決してご自分で修理をなさらずに、マックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

## オートパワーOFF機能について

オートパワーOFF機能とは、本機に電池パックを装填した状態で、24時間以上トリガが引かれない状態が続いた場合、電池パックの消費をおさえるために自動的に本機と電池パックの通電をOFFにする機能です。この状態から再起動する場合には、電池パックを再装填（一度取り外してから再度取り付ける）をしてください。（23ページ参照）

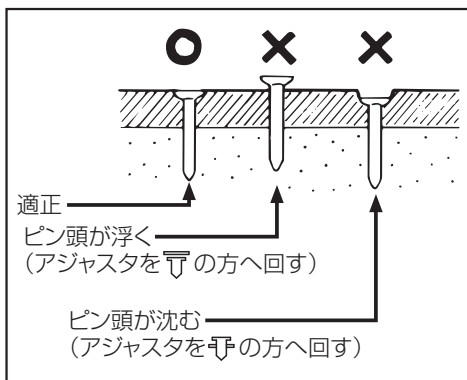
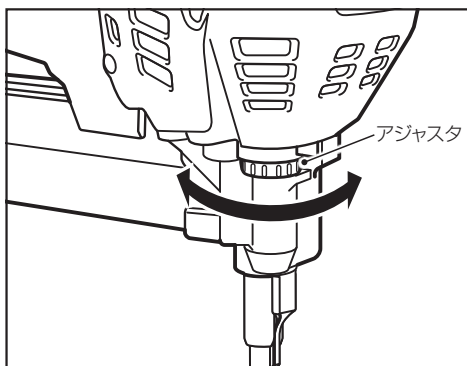
## アジャスタの調整と打込状態の確認

### 警告

- 調整の時は必ずガスカートリッジ、電池パックをはずす。

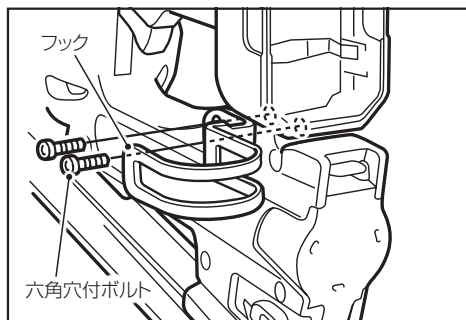
### 手順

- ①ガスカートリッジ、電池パックをはずします。
- ②ピンを装填します。
- ③ガスカートリッジ、電池パックを装填します。
- ④アジャスタの調整（ピンの打込調整）の前に一度テスト打ちしてください。  
打込みたい深さを確認します。
- ⑤ガスカートリッジ、電池パックをはずします。
- ⑥ピンを取り出します。
- ⑦アジャスタを回し調整します。  
※アジャスタを1回転させると約1mm上下します。
- ⑧本機にピンを装填します。
- ⑨ガスカートリッジ、電池パックを装填し、さらにテスト打ちをして適正かどうか確認してください。
- ⑩適正であれば調整完了です。不適正であれば以上の手順をくり返してください。



## フックの方向の変え方

フックは2方向に向きを変えることができます。六角穴付ボルトを付属の六角棒スパナ4ではずし、位置を変えてから再度組付けてください。



### ⚠ 警告

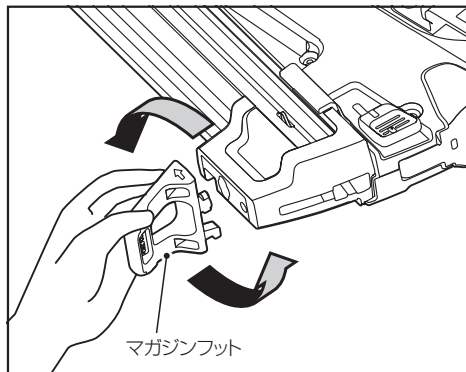
- フックの取付け・取外しの際には必ずガスカートリッジ、電池パックを外してから行う。  
不意に本機が作動して、事故の原因になります。
- フック使用時はトリガに指をかけない。  
不意に本機が作動して、事故の原因になります。
- フック使用時は、本機が落下しないようにしっかりと掛ける。  
本機が落下すると事故のおそれがあります。
- フック使用時に、フックが本機にしっかりと取付けられているか確認する。  
フックの取付けが不完全なまま使用すると、けがの原因になります。

## マガジンフットの取外し方

マガジンフットが不要な場合は、取外してお使いください。

### 手順

- ① ガスカートリッジ、電池パックをはずします。
- ② マガジン内に残っているピンを抜き取ります。
- ③ マガジンフットを矢印の方向に90°回転し、はずします。



### ⚠ 警告

- マガジンフットの取付け、取外しの際には、必ずガスカートリッジ、電池パックを外してから行う。

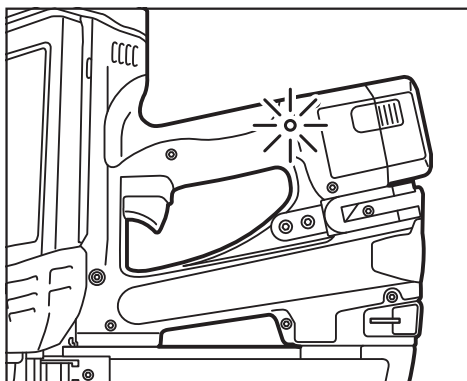
## 電池パックの交換について

バッテリーが消耗しますと本機のLEDランプ赤が点灯します。

充電された新しい電池パックを取り付けてください。(23ページ参照)

### **⚠ 警告**

- 必ずトリガから指をははずす。
- 必ずガスカートリッジをははずす。
- コンタクトアームを押し付けない。





# ピンづまりの直し方

ピンづまり時に除去を簡単に行えるよう、本機には除針装置がついています。

## 警告

- 装填したピンを抜き、ガスカートリッジを抜き、電池パックをはずす。

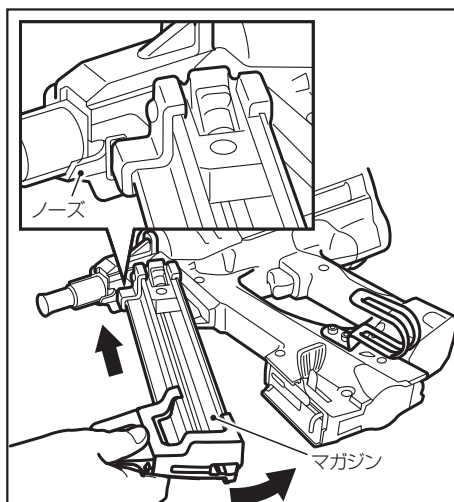
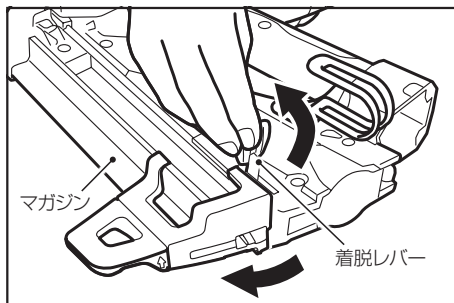
### 手順

- ①ガスカートリッジを抜き、電池パックをはずします。
- ②マガジン内に残っているピンを抜き取ります。
- ③マガジン後方の着脱レバーを90°起こし、マガジンを図の矢印方向に動かして外してください。

※手前に引くとマガジンが外れません。  
マガジンが外れなくなった場合は着脱レバーを戻してからやり直してください。

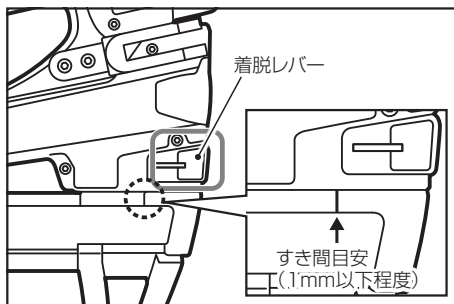
- ④ポンチ等でつまったピンを取り除きます。

- ⑤マガジン前方をノーズに差し込み、マガジンをセットし、着脱レバーを戻します。



## 警告

- マガジンとボディにすきまが無く密着させた状態で着脱レバーを戻す。



# 故障かな?と思ったら

## ●確認事項

修理を依頼される前に下記点検をお願いします。

No.	正常な作動内容	異常症状	想定される要因
1	電池パックを充電する	電池パックが充電できない。	充電器セットのコンセント、各プラグがしっかり差し込まれていない。
2	機械先端部を相手材に押し当てるとファンが回る。 ※ファンは打込みが終わった後も回転します。 直前までの作業スピードによってファン回転時間は変化します。	ファンがまわらない。	電池パックの充電不足 電池パックが機械本体にきちんと装填されていない。 オートパワーOFF機能がはたらいている。 ガスカートリッジキャップがしっかり閉じていない。 ピンが残り2本となっている。(空打ち防止機構がはたらいている) コンタクトアーム摺動部(機械先端部の安全装置周辺)に異物が詰まっている。
3	トリガを引くとピンが発射する。	ピンが発射しない。	ガスカートリッジの残量がない。 ガスカートリッジの消費期限が切れている。 ガスカートリッジが機械にきちんと装填されていない。 ガスカートリッジキャップがしっかり閉じていない。 押し付け力不足 機械先端部に異物が詰まっている。 メインピストンが正規の位置まで戻っていない。 気温が-10℃以下 フィルタが目詰まりしている。 長時間使用により機械本体が熱くなっている。 ピン連結帯がねじれている。
4	相手材にピンが適切に打ち込まれる。	ピンが深く入りすぎる。 ピン頭が浮く。 ピンが入らない。 ピンが詰まる。	相手材に対してピン全長が短い。 アジャスタが深く入るように調整されている。 相手材に対してピン全長が長い。 アジャスタが浅く入るように調整されている。 相手材のコンクリートが硬い、グリが多い。 マガジンが機械先端部に異物が詰まっている。 ピン連結帯がねじれている。

機械本体のLEDランプ(赤)	想定される要因	対応
点 灯	電池パックの充電不良	電池パックを充電する。
点 滅	メンテナンス時期のお知らせ	お買い求めの販売店を通じてマックスエンジニアリングサービス(株)にお申し付けください。

確認方法	対 応
	充電器セットのコンセント、各プラグをしっかりと差し込む。(⇒20ページ)
機械本体のLEDランプが赤く点灯しているか確認	電池パックを充電する。
	電池パックを再装填する(⇒23ページ)
	電池パックを再装填する(⇒23ページ)
	確実にパチンと音がするまで閉めてください。(⇒25ページ)
	ピンを装填する。
ガスカートリッジ、電池パックを取り外して確認	異物を除去する。
	別のガスカートリッジに交換する。
	別のガスカートリッジに交換する。
	ガスカートリッジを再度装填する。
	確実にパチンと音がするまで閉めてください。(⇒25ページ)
	機械先端部を相手材に確実に押し当ててトリガを引く。
ガスカートリッジ、電池パックを外してから機械先端部を確認	異物を除去する。
ガスカートリッジ、電池パックを外し、マガジンを外して確認	機械先端部から付属のポンチを差し込み、ピストンを戻す。 ※ポンチを差し込んでも押せない場合ピン詰まりの可能性があります。(⇒33ページ)
	ガスカートリッジと機械本体を常温の室内に保管する。
	フィルタを清掃する。(⇒36ページ)
	風通しの良いところで、しばらく冷やしてから使用してください。
ガスカートリッジ、電池パックを取り外して確認	別のピンを装填する。
	現行より長いピンを使用する。(コンクリート貫入量15～20mmでピン長さを選定する)
	アジャスタで打込深さを調整する。
	現行より短いピン、あるいは超硬ピンを使用する。(コンクリート貫入量15～20mmでピン長さを選定する)
	アジャスタで打込深さを調整する。
	超硬ピンを使用する。相手材の問題でピンが入らない場合があります。
ガスカートリッジ、電池パックを外し、マガジンを外して確認	異物を除去する。
	別のピンを装填する。

以上の処置方法を施しても直らない場合は、お買い求めの販売店を通じてマックスエンジニアリングサービス㈱にお申し付けください。

消耗品は必ず指定のマックスガスネイラ用コンクリートピン、及びガスカートリッジを使用してください。

# 性能を維持するために

## 本機を大切に使う

落としたり、ぶつけたり、叩いたりしますと、変形、亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落としたり、ぶつけたり、叩いたりしないでください。

## カラ打ちをしない

ピンを装填しないでカラ打ちをくり返し行うと各部の耐久性が低下しますので教えてください。

## 注油をしない

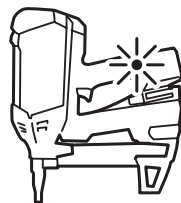
本機には注油を絶対にしないでください。故障の原因となります。

## 定期的な点検をする

本機の性能を維持するために清掃、点検を定期的に行ってください。点検は決してご自分で修理をなさらずに、マックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

## メンテナンスお知らせLEDランプ

ボディのLEDランプが赤く点滅するとメンテナンスの時期です。点検はお買い求めの販売店を通じてマックスエンジニアリングサービス㈱にお申し付けください。



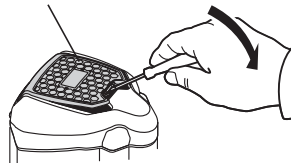
## エアフィルタの清掃

### 警告

- ガスカートリッジ、電池パックを必ず取り外す。
- 清掃は必ず機械が冷えた状態で行う。  
ボルト及び内部の部品は高温になっているため、やけどのおそれがあります。
- 清掃は粉じんやほこり等の無い室内で行う。  
機械内部に粉じんやほこりが入ると故障や火傷の原因となります。

定期的エアフィルタの清掃を行ってください。マイナスドライバー等でエアフィルタカバーをはずし、エアフィルタに付着したコンクリートの粉じんやほこりを落としてください。

エアフィルタカバー



エアフィルタカバー



エアフィルタ



# 保証、アフターサービスについて

## 保証について

- 本機には保証書(外箱スリーブに添付)がついています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 本機の基本保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- 定期交換部品については、保証対象外となります。

## アフターサービスについて

- 本機の調子が悪いときはすぐに使用を中止し、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。
- 保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理させていただきます。

# memo

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



●マックスお客様ご相談ダイヤル

0120-228-358

『ナンバーディスプレイ』を利用しています。

# マックス株式会社

●販売拠点等

本 社	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8121
札 幌 支 店	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 261-7141
仙 台 支 店	〒984-0015	宮城県仙台市若林区卸町5-3-4	TEL (022) 236-4121
盛 岡 管 業 所	〒020-0824	岩手県盛岡市東安庭2-10-7	TEL (019) 621-3541
東 京 支 店	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8101
多 摩 管 業 所	〒190-0022	東京都立川市錦町5-17-19	TEL (042) 528-3051
東 関 東 管 業 所	〒300-0811	茨城県土浦市上高津915-1	TEL (029) 835-7322
千 葉 管 業 所	〒260-0831	千葉県千葉市中央区港町16-25	TEL (043) 223-5859
群 馬 管 業 所	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (027) 353-7075
長 野 管 業 所	〒399-0033	長野県松本市笹賀8155	TEL (0263) 26-4377
新 潟 管 業 所	〒955-0081	新潟県三条市東裏館2-14-28	TEL (0256) 34-2112
名 古 屋 支 店	〒462-0819	愛知県名古屋北区平安2-4-87	TEL (052) 918-8619
静 岡 管 業 所	〒420-0067	静岡県静岡市葵区幸町29-1	TEL (054) 205-3535
大 阪 支 店	〒550-0014	大阪府大阪市西区北堀江3-9-10丸一鋼管ビル	TEL (06) 6110-0253
京 滋 管 業 所	〒612-8414	京都府京都市伏見区竹田段川原町195	TEL (075) 645-5061
神 戸 管 業 所	〒650-0017	兵庫県神戸市中央区楠町6-2-4ハーバースカイビル1F	TEL (078) 367-1580
沖 縄 管 業 所	〒901-2132	沖縄県浦添市伊祖2-17-1	TEL (098) 875-3577
広 島 支 店	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-6331
福 岡 支 店	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1丁目5-1	TEL (092) 411-5416
南 九 州 管 業 所	〒891-0115	鹿児島県鹿児島市東開町3-24	TEL (099) 269-5347
マックス販売株式会社 本社	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 651-5346
埼 玉 管 業 所	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 651-5341
横 浜 管 業 所	〒241-0822	神奈川県横浜市旭区さちが丘7-6	TEL (045) 364-5661
金 沢 管 業 所	〒921-8061	石川県金沢市森戸2-15	TEL (076) 240-1871
岡 山 管 業 所	〒700-0971	岡山県岡山市北区野田3-23-28	TEL (086) 246-9516
四 国 管 業 所	〒761-8056	香川県高松市上天神町761-3	TEL (087) 866-5599
松 山 管 業 所	〒790-0036	愛媛県松山市小栗6-1-22第1白石ビル1F	TEL (089) 913-1893

●マックスエンジニアリングサービス(株)

札 幌サービスステーション	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 231-6487
仙 台サービスステーション	〒984-0015	宮城県仙台市若林区卸町5-3-4	TEL (022) 237-0778
新 潟サービスステーション	〒955-0081	新潟県三条市東裏館2-14-28	TEL (0256) 35-7252
高 崎サービスステーション	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (027) 350-7820
埼 玉サービスステーション	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 667-6448
名古屋サービスステーション	〒462-0819	愛知県名古屋北区平安2-4-87	TEL (052) 918-8624
京 滋サービスステーション	〒612-8414	京都府京都市伏見区竹田段川原町195	TEL (075) 645-5062
大 阪サービスステーション	〒550-0014	大阪府大阪市西区北堀江3-9-10丸一鋼管ビル	TEL (06) 6110-0265
広 島サービスステーション	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-5670
福 岡サービスステーション	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1丁目5-1	TEL (092) 451-6430

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

GN12443  
210407-00/02



便利メモ

お名前	商品名	GS-738C2
お買い上げ日	年	月
	日	製造番号
販売店名	☎	